

2022年8月吉日

全国港湾労働組合連合会 御中



メ ッ セ ー ジ

貴労組の定期大会のご成功を祝し心より連帯のご挨拶を申し上げますと共に貴労組の日夜のご奮闘に対し敬意を表します。また、日頃より、私ども関門港湾へのご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

今もなおコロナ感染は終息には至っておらず、日本でも7月に入り第7波の感染拡大が急激に増え感染者が過去最高になっています。また、世界的にはコロナ感染拡大を起因とした港湾の混雑などにより輸送の遅延が現在もなお続いています。併せてロシアのウクライナ侵略戦争の影響により、穀物の輸出大国であるウクライナに寄港する本船が減少したことやロシアへの経済制裁による天然ガスや石油などの原材料不足が重なり、日本を含め世界的な物価高騰をもたらし、国民生活を直撃しています。

港湾においては、「石炭火力発電老朽施設の休廃止への取り組み」や「秋田・船川港の産別協定遵守と港湾秩序維持」「横須賀新港ふ頭における雇用を守る取り組み」などの諸課題が山積しています。また、その中でも港湾の自動化・機械化が進んでおり、遠隔操作により安全作業と今後深刻化が見込まれている労働力不足を補うことが出来る一方、港湾の合理化が危惧されており港湾の雇用と職域を守っていく為には、全国港湾へ結集して産別運動の強化が必要になります。

我々の要求を成し遂げ、港湾労働者の雇用安定と生活向上の為、港湾で働く仲間が連携し、「魅力ある港湾労働」の確立に向け運動を地域、職場から構築する為に、共に頑張りましょう。

貴労組の定期大会のご盛會を祈念し、益々のご発展と大会ご参集の皆様のご健勝を願い、連帯のメッセージと致します。

2022年9月吉日

全国港湾労働組合連合会

中央執行委員長

柏木 公廣 様


第15回定期大会

ご盛会を心からお喜び申しあげます

こくみん共済 coopは みなさまと共にこれからも
「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という
変わらぬ理念の実現にむけ お役立ち発想と共創活動で
「新しいたすけあい」を創造・実践してまいります
貴組織のますますのご発展と皆様方のご健勝を
心よりお祈りいたします



こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 

代表理事 理事長 廣田 政巳

たすけあいの輪をむすぶ

2022年9月28日

全国港湾労働組合連合会 御中

鹿児島港湾労働組合協議会
議長 下村 浩樹



メ ッ セ ー ジ

全国港湾労働組合連合会定期大会のご成功を祝し、心より連帯の挨拶を送ると共に、日夜のご奮闘に対し敬意を表します。

また、平素より私ども協議会へのご指導、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

内閣府が発表した4～6月期の国内総生産（GDP）速報値は、物価変動の影響を除いた実質の季節調整値で前期比0.5%増、年率換算で2.2%増でした。また新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置の解除で、個人消費が回復して全体を押し上げました。

国内の景気がようやく持ち直しはじめましたが、資源・エネルギー・輸入物価上昇の影響が家計や企業を直撃し始めています。このような厳しい環境の中で、私たち労働者が幸せにくらしていくためには、雇用を守り、労働条件の維持・向上を図る労働組合の存在と役割が、今後より一層重要になっていくと考えます。

港湾においては、アライアンスの再編・統合など船社の合理化、港湾労働の自動化・機械化など労働者不在の港湾政策が進み、既存の港湾秩序を乱し、港湾労働者の雇用と職域が脅かされています。

今こそ、港湾労働者の雇用と安定した生活を守るために港湾産別協定を遵守させ、港湾秩序を守るための運動を地域や職場を挙げて、取り組むことが必要です。

本日の2022年度、全国港湾労働組合連合会定期大会のご盛会を祈念し、益々のご発展と大会にご参集の皆様のご健勝を願い、共に闘う決意を申し上げメッセージと致します。

以上



ITF Tokyo Office
Tamachi Kotsu Bldg, 3-2-22 Shibaura,
Minato-ku, Tokyo 108-0023
Telephone +81 (0)3 3798 2770
Fax +81 (0)3 3769 4471
E-mail mail@itftokyo.org

国際運輸労連
International Transport Workers' Federation
Federación Internacional de los Trabajadores del Transporte
Fédération Internationale des ouvriers du transport
Internationella Transportarbetarefederationen
Internationale Transportarbeiter-Föderation
Международная федерация транспортников
الاتحاد الدولي لعمال النقل

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 柏木 公廣 殿

全国港湾労働組合連合会第15回定期大会へのメッセージ

国際運輸労連（ITF）を代表し、全国港湾労働組合連合会第15回定期大会の開催に、心よりお祝いを申し上げます。また、平素よりITF活動に対する貴連合会の力強いご支援とご協力に対し、深く感謝申し上げますとともに、長引く新型コロナウイルス感染症の蔓延による景気の低迷、さらには急激な円安による輸入原材料と消費者物価の高騰など厳しい生活環境の中で、社会的キーワーカーとして社会インフラの健全な維持・発展と職場の安全の確立に向けて、日々努力を続けておられる組織の皆様に深く敬意を表します。

国際海上輸送を取り巻く環境は、ここ数十年の間に大きく変化しました。かつて、港湾取り扱い貨物量の世界の上位港に名を連ねていた日本の各港の港勢は著しく低下し、その多くが、中国、シンガポール、釜山などにシフトし、365日24時間対応の巨大ターミナルの運営で港勢をさらに拡大しています。

総じて、交通運輸労働者は、気候変動危機の最前線にたって、いわゆるグリーン・トランスフォーメーションの実現へ向けた責任を負っていますが、これら海上輸送の中心である東アジアや欧州の主要港湾では、政府と使用者が一体となって、港湾荷役インフラの「電動化」や「自動化」をより迅速に推し進めることによって気候変動危機への対応としてまいりました。

港湾産業における新技術導入を基礎とする地球温暖化対策は明らかに誤りであり、あるべき賃金に支えられた仕事を喪失し、不安定雇用を深刻化させ、民営化によってサービスを低下させるといった誤った解決策をもたらしています。

温室効果ガスを抑制し、低炭素経済社会への変革に向けた「公正な移行」へのプロセスには、社会経済システムの改革と同時に、真に、「働き甲斐のある人間らしい仕事」を創出し、働く者への教育訓練や生活支援を充実させ、そのためにも労働者の意見反映を確実にするための社会対話が極めて重要になります。